

福島県内宿泊促進支援事業 公募型プロポーザル募集要領

1 事業について

(1) 事業名

福島県内宿泊促進支援事業

(2) 業務概要

エネルギー価格や物価高騰の影響を受け、厳しい経営環境に置かれている事業者に対し、県内旅行客への宿泊割引を実施することで、旅行需要を喚起し、宿泊事業者を含めた関連事業者へ経済効果を波及させるための支援として、福島県内宿泊促進支援事業を実施する。

(3) 業務仕様

別紙「福島県内宿泊促進支援事業委託仕様書」（以下、仕様書という。）のとおり。

なお、具体的な手法については、企画提案書の選定後に、提案内容を反映する。

(4) 業務期間

委託契約締結の日から令和9年3月31日（水）までの期間

(5) 委託料の上限額

3,194,890,000円（消費税及び地方消費税込み）

うち宿泊割引原資

2,700,000,000円（非課税）

2 プロポーザルに係る事項

(1) プロポーザル参加の要件

本プロポーザルに参加できる者は、次に掲げている条件を全て満たしている者とします。

ア 地方自治法施行令第167条の4の規定に該当しないこと。

イ 募集要領を公示した日から契約締結日までの期間において、本県及び国の機関等における入札参加資格制限措置要綱の規定に基づく入札参加制限中の者でないこと。

ウ 会社更生法（平成14年法律第154号）の規定による更生手続開始の申立てをした者若しくはなされた者（同法第41条第1項に規定する更生手続き開始の決定を受けた者を除く。）又は民事再生法（平成11年法律第225号）の規定による再生手続開始の申立てをした者若しくはなされた者（同法第33条第1項に規定する再生手続き開始の決定を受けた者を除く。）でないこと。

エ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）に該当しないほか、次に掲げる者でないこと。

（ア）役員等（提出者が個人である場合にはその者その他経営に実質的に関与している者を、乙が法人である場合にはその役員、その支店又は常時契約を締結する事務所の代表者その他経営に実質的に関与している者をいう。以下この号において同じ。）が、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（以下この条において「暴力団」という。）又は同条第6号に規定する暴力団員（以下この条において「暴力団員」という。）。

- (イ) 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしている者。
- (ウ) 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与している者。
- (エ) 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用するなどしている者。
- (オ) 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者。
- オ 県税を滞納している者でないこと。
- カ 消費税または地方消費税を滞納している者でないこと。
- キ 本公告に示した業務に技術上類似する業務を実施した実績があり、かつ、業務を確実に履行できる者であること。

(2) 実施要領等の入手方法

実施要領及び必要な様式等については、福島県観光交流局観光交流課（以下、「観光交流課」という。）のホームページからダウンロードして入手してください。
なお、観光交流課の窓口又は郵送等での配付は行いません。

(3) プロポーザルのスケジュールについて

項目	日程
公募開始	令和7年12月15日（月）
質問の受付	令和7年12月16日（火）12時まで（必着）
質問の回答	令和7年12月17日（水）
プロポーザル参加表明書提出	令和7年12月18日（木）12時まで（必着）
企画提案書等提出	令和7年12月24日（水）12時まで（必着）
審査	令和7年12月26日（金）
審査結果通知	令和8年1月5日（月）以降を予定
仕様協議・契約	令和8年1月6日（火）以降を予定

(4) 上記スケジュールの各項目に係る詳細について

ア 質問の受付・回答

(ア) 提出方法

質問書（第1号様式）により、後述の問合せ先及び各種書類の提出先に電子メール又はFAXにより提出してください。送信件名は「【質問】福島県内宿泊促進支援事業」とし、電子メール又はFAX送付後、電話にて送付した旨お知らせください。なお、電話による質問の受付は行いません。

(イ) 回答方法

質問に対する回答は、競争上の地位その他正当な利害を害するおそれのあるものを除き、令和7年12月17日（水）に、観光交流課のホームページに随時公表します。
(質問者に対する個別の回答は行いません。)

イ 公募型プロポーザル参加表明書の提出

公募型プロポーザルに参加する意思のある者は、参加表明書（第2号様式）を提出期限までに下記により提出してください。なお、この提出がない者の企画提案は受け付けません。

【提出方法】

参加表明書（第2号様式）を電子メール又はFAXにより提出してください。

送信件名は「福島県内宿泊促進支援事業 公募型プロポーザル参加表明書」とし、電子メール又はFAX送付後、電話にて送付した旨お知らせください。

なお、原本については後述の企画提案書等と一緒に送付して下さい。

ウ 企画提案書等の提出

公募型プロポーザルに参加する意思のある者は、「イ 公募型プロポーザル参加表明書の提出」による手続を行った上で、企画提案書等を提出期限内に後述の問合せ先及び各種書類の提出先まで提出してください。

【提出方法】

郵送又は持参

※持参による提出の受付時間

月曜日から金曜日（祝日を除く。）の8時45分～17時00分

【提出すべき書類】

- ①企画提案書及び工程表（様式任意。但し、日本工業規格A4版とする。）
 - ②事業経費積算書（様式任意。但し、日本工業規格A4版）
 - ③その他企画提案を説明するのに必要な書類
 - ④会社概要（第3号様式）と直近2年分の決算書又は事業報告書（収支状況がわかるもの）
 - ⑤業務実施体制書（第4号様式）
 - ⑥定款又は寄付行為の写し（法人格を有しない場合は、団体規約の写し等運営規約に相当するもの）
 - ⑦法人登記簿の写し（申請受付日の3ヶ月以内のもの）
- ※法人格を有しない場合は、名称、所在地、資産の総額、代表者の氏名及び住所を記載した書類。
- ⑧暴力団等反社会的勢力でないことの表明・確約に関する同意書（第5号様式）
 - ⑨前述した参加表明書（第2号様式）の原本

【提出部数】

上記①～⑤…7部（正本1部、副本6部）、⑥～⑨…1部（正本1部）

【提案内容】

企画提案書には仕様書に基づき、次の事項に注意して作成してください。

- ①仕様書に記載している各業務が、円滑に着実に遂行できる具体的な提案を行うこと。
 - ②仕様書に記載されている各業務の実施方法について具体的に提案すること。
- また、各業務をどのように連携して実施するかについて具体的に提案すること。
- ③仕様書に定める業務のほかに、予算の範囲内において実施できる効果的な業務がある場合は独自提案として具体的に提案すること。

【留意事項】

①失格又は無効となる場合

- ・提出期限を過ぎて参加表明書や企画提案書が提出された場合
- ・提出書類に虚偽の内容の記載がされていた場合
- ・提出書類に不備があった場合
- ・審査の公平性に影響を与える行為があった場合
- ・参加表明書の提出期限から当該業務の契約締結日までの期間内に、提案者（役員）が刑法に定める容疑により逮捕又は起訴された場合
- ・本実施要領に違反すると認められる場合
- ・その他、福島県が予め指示した事項に違反した場合

②複数企画提案の禁止

参加者は、複数の企画提案書の提出を行うことは出来ません。

③提出後における企画提案書等の内容変更、差替え又は再提出の禁止

④辞退

提出書類を提出した後に辞退する際には、辞退届（任意様式）を提出すること。

⑤費用負担

プロポーザルに要する経費等は、参加者の負担とする。

⑥その他

参加者は、応募申込書の提出をもって、本実施要領の記載内容を承諾したものとみなします。また、提案の実現可能性を検討するため、必要に応じて提案者に対し、任意で追加資料の提出を求めることがあります。提出された企画提案書等は一切返却いたしません。なお、提出された企画提案書等は、福島県情報公開条例（平成12年条例第5号）に基づく情報公開請求の対象となります。

エ 審査

①審査方法

業務委託者の選定は、別途設置する「プロポーザル審査委員会（以下、審査委員会という。）が行います。審査委員会は、提案についてプレゼンテーション審査し、業務委託予定者（随意契約の予定者）を選定します。

なお、本プロポーザルは説明会を実施しないため、本募集要領や仕様書を確認のうえ参加してください。

②審査会（プレゼンテーション）

企画提案書について企画提案者からのプレゼンテーション形式にて審査を行います。審査で選定された者を契約候補者とし、契約締結の手続きを行います。

・ 開催日

令和7年12月26日（金）福島県庁西庁舎12階 会議室

※ 詳細は別途通知します。

・ 審査時間

説明20分 質疑10分

・ 審査基準

下記審査基準に基づき総合的に審査します。

【審査基準】

審査項目	評価の視点	配点
業務遂行能力	業務体制	・業務を実施する上で十分な体制であるか。
	スケジュール	・業務を円滑に実施できる計画であるか。 ・進行管理体制は適切か。
	業務実績	・本業務と類似の業務の受注実績や特筆すべき業務成果あるか。
企画提案内容	実施方針 (業務理解)	・本事業の目的や業務内容を理解しているか。
	企画提案 (企画力)	・本事業の目的を達成するのに十分な企画力があるか。
	企画提案 (具体・実現性)	・具体的で、実現性の高い提案となっているか。 ・宿泊施設などの実態を踏まえた提案となっているか。
	業務経費	・業務経費は適正であるか。
		15

【業務委託予定者の選定】

- ・各審査委員が評価点の合計得点を算出します。
- ・審査票の合計得点により、審査委員ごとに事業者の順位を決定します。
- ・各審査委員の順位の平均が最も上位の者を業務委託予定者（単独随意契約の予定者）とします。
- ・なお、プロポーザル参加者が1者の場合、全審査委員の合計得点の平均が6割以上であることを条件とします。
- ・また、総得点が同点となった場合、審査委員会による協議の上、業務委託予定者を決定します。

オ 審査結果通知

【通知】

- ①審査の結果は、プロポーザル参加者全員に電子メール等により通知します。
- ②選定されなかった者は、その通知の日の翌日から起算して2週間以内に選定されなかった理由の説明を書面により求めることができます。
- ③上記②に係る回答は、書面が到達した日から起算して10日以内に行います。
なお、回答の内容は「請求者及び最優秀者の企業名と審査時の平均順位」を公表するものとします。

力 仕様協議・契約

【仕様協議】

選定した契約候補者と県が協議し、委託契約に係る仕様を確定した上で契約を締結します。

仕様書の内容は契約候補者が提案した内容を基本としますが、提案内容のとおりに反映されない場合もあります。

また、契約後に企画提案書に基づく履行ができなかった場合において、再度の履行が困難又は合理的でないときは、契約金額の減額、損害賠償の請求、契約の解除、違約金の請求の対象となります。

【契約金額の決定】

契約金額は上記の協議結果をふまえた仕様書に基づき改めて見積書を徴取し決定します。

【その他】

契約候補者と県との間で行う協議が整わない場合、又は契約候補者が契約を辞退した場合は、審査結果において総合評価が次点であった候補者と協議します。

なお、本事業は国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した令和7年度12月補正予算により執行するものであることから、今後の福島県議会での審議及び交付決定等により変更・中止となる場合があります。なお、このことに伴い、本プロポーザル参加者又は業務委託予定者に損害が生じても、その損害について県は一切負担しません。

(5) 問合せ先及び各種書類の提出先

〒960-8670 福島市杉妻町2-16 (西庁舎11階)

福島県観光交流局観光交流課 (担当: 大越)

電話: 024-521-7286 FAX: 024-521-7888

メール: tourism@pref.fukushima.lg.jp